

品 名 登 録 番 号	<b>モスピラン®</b> 水溶剤		農林水産省登録 第 1 9 1 1 2 号						
成分含有量	(E)-N <sup>1</sup> -[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-N <sup>2</sup> -シアノ-N <sup>1</sup> -メチルアセ トアミジン (アセタミプリド)		20.0%						
物 理 的 化 学 的 性 状	淡青色水溶性粉末 45 μm以下								
特 長	1. 新規の骨格(ネオニコチノイド系)を持ち、作用機作が既存剤と異なるので、有機リン剤・ カーバメイト剤・合成ピレスロイド剤などに効きにくくなった害虫にも有効です。 2. 幅広い殺虫スペクトルを有しています。 3. 高い活性があり、少ない薬量で長い残効性があります。 4. 速効性と強い浸透移行性を併せ持っています。 5. ミツバチ・マルハナバチに影響が少なく、いちご・トマトなどで活用できます。 6. 水溶剤なので汚れが少ない薬剤です。								
適用害虫名 及 び 薬 量	作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用 液量 (ℓ/10a)	使用時期	本 剤 の 使用回数	アセタミプリド を含む農薬の総 使用回数	使用 方法	
	キャベツ	コナガ、アオムシ	1,000~ 2,000	100~300	収穫7日 前まで	5回以内	6回以内 〔粒剤の定植時までの 処理は1回以内、散 布及び定植後の株元 散布は合計5回以内〕	散布	
		アブラムシ類	2,000~ 4,000						
	はくさい	コナガ、アオムシ	1,000~ 2,000			収穫14日 前まで	3回以内		4回以内 〔粒剤の定植時までの 処理は1回以内、散 布及び定植後の株元 散布は合計3回以内〕
	ブロッコリー	コナガ、アオムシ	2,000						
	カリフラワー	アブラムシ類				収穫7日 前まで	3回以内		
	だいこん	カブラハバチ	4,000			収穫14日 前まで	1回		1回
		コナガ、アオムシ	2,000						
		キスジノミハムシ ダイコンサルハムシ							
	はつかだいこん	アブラムシ類	2,000~ 4,000			収穫7日 前まで	1回		チンゲンサイ は2回以内 〔粒剤の株元散布は1 回以内、散布は1 回以内〕 チンゲンサイ 以外は1回
	わさびだいこん	コナガ	2,000			収穫21日 前まで			
	かぶ	キスジノミハムシ アブラムシ類 カブラハバチ	4,000			収穫7日 前まで			
	非結球 あぶらな科 葉菜類	アブラムシ類	4,000			収穫14日 前まで	2回以内		2回以内
	なばな類					収穫前日 まで			
	茎ブロッコリー					収穫7日 前まで	1回		1回
	非結球 メキャベツ					2,000	2回以内		2回以内
	メキャベツ					4,000			
	くきちしゃ								

MOSPILAN SP

acetamiprid

作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用 液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	アセタミプリド を含む農薬の総 使用回数	使用方法
レタス	アブラムシ類	2,000～ 4,000	100～300	収穫7日 前まで	3回以内	4回以内 〔粒剤の株元散布 は1回以内、散 布は3回以内〕	散布
非結球レタス	アザミウマ類 アブラムシ類	4,000			1回	2回以内 〔粒剤の株元散布 は1回以内、散 布は1回以内〕	
うり類 (漬物用)		2,000～ 4,000		収穫前日 まで	3回以内	3回以内	
メロン		8,000		収穫3日 前まで			
にがうり		4,000		収穫前日 まで	2回以内	3回以内 〔は種時または定植時の 土壌混和は合計1回以 内、散布及び定植後の株 元散布は合計2回以内〕	
かぼちゃ	アブラムシ類	2,000～ 4,000					
きゅうり	コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ ウリノメイガ	2,000		収穫前日 まで	3回以内	5回以内 〔2%粒剤の定植時の 株元散布は1回以 内、2%粒剤の定植 後の株元散布は1回 以内、散布、くん煙 及び1%粒剤の株元 散布は合計3回以内〕	
	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	2,000～ 4,000					
すいか	アブラムシ類 アザミウマ類 ウリノメイガ	2,000		収穫3日 前まで	3回以内	4回以内 〔定植時の土壌混和は 1回以内、散布、くん 煙及び定植後の株元 散布は合計3回以内〕	
	コナジラミ類						
なす	アザミウマ類	2,000～ 4,000		収穫前日 まで	2回以内	4回以内 〔粒剤の定植時まで の処理は1回以内、 散布、くん煙及び定 植後の株元散布は 合計3回以内〕	
	アブラムシ類	4,000					
ピーマン	アブラムシ類	4,000		収穫前日 まで	2回以内	3回以内 〔粒剤の定植時まで の処理は1回以内、 散布、くん煙及び定 植後の株元散布は 合計2回以内〕	
	アザミウマ類 コナジラミ類						
とうがらし類	アブラムシ類	8,000	収穫7日 まで		2回以内		
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	2,000	収穫前日 まで	3回以内	4回以内 〔粒剤の定植時まで の処理は1回以内、 散布、くん煙及び定 植後の株元散布は 合計3回以内〕		
オクラ	アブラムシ類	4,000			3回以内		

適用害虫名  
及び薬量

適用害虫名 及び薬量	作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用 液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	アセタミプリド を含む農薬の総 使用回数	使用 方法		
		にら	アブラムシ類	4,000	100~300	収穫前日 まで	3回以内	3回以内	散布	
らっきょう		アザミウマ類	2,000	収穫14日 前まで						
たまねぎ				3回以内 〔は種時の土壌混和 は1回以内、 植付時の土壌混和 及び定植当日まで の株元散布は合計 1回以内〕						
ねぎ						4回以内 〔土壌混和は1回 以内、散布は3回 以内〕				
わけぎ あさつき							3回以内 〔粒剤の株元散布 及び土壌混和は 合計1回以内、 散布及びくん煙 は合計2回以内〕			
いちご						コナジラミ類		2,000~ 4,000		収穫前日 まで
				アブラムシ類		2回以内				
アスパラガス				コナジラミ類 アザミウマ類 ジュウホシクビナガハムシ			4,000	収穫14日 前まで		1回
食用ぎく				アブラムシ類		2,000	収穫前日 まで			
食用金魚草 食用プリムラ				アザミウマ類						
食用ゆり				アブラムシ類		4,000	収穫14日 前まで	3回以内		3回以内
しよくようほおずき		アブラムシ類	2,000~ 4,000	収穫7日 前まで		3回以内	4回以内 〔植付時の土壌混和 は1回以内、植付後 は3回以内〕			
ばれいしょ		テントウムシダマシ						2,000~ 6,000		収穫7日 前まで
		アブラムシ類								
やまのいも		アザミウマ類 アブラムシ類	4,000	収穫21日 前まで		3回以内	3回以内			
やまのいも (むかご)				5回以内				5回以内		
やまのいも (種芋栽培)										
未成熟 とうもろこし		アブラムシ類	2,000~ 4,000	収穫前日 まで		3回以内	3回以内			
とうもろこし (未成熟とうも ろこしを除く)				収穫14日 前まで						
あずき				収穫前日 まで						
さやいんげん										

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法	
さやえんどう	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	4,000	100~300	収穫前日まで	3回以内	3回以内	散布	
豆类(未成熟) (ただし、えだまめ・さやいんげん・さやえんどうを除く)				収穫7日前まで				
えだまめ				4回以内 (は種時または定植時の 土壌混和は合計1回 以内、散布は3回以内)				
ヤングコーン	アブラムシ類	2,000		収穫前日まで		2回以内		
ふ き	コナジラミ類	3,000		収穫14日前まで	2回以内	3回以内 (粒剤の株元散布は 1回以内、散布は 2回以内)		
モロヘイヤ			収穫21日前まで	1回			1回	
ふだんそう エンサイ しそ タラゴン	アブラムシ類	4,000		収穫7日前まで	2回以内	2回以内	散布	
セルリー			収穫14日前まで					
なずな ははこぐさ みつば			収穫7日前まで	1回				1回
しゅんぎく ほうれんそう				※				
パセリ				収穫14日前まで	2回以内	2回以内		
バジル タイム チャービル ディル(葉)		8,000		収穫3日前まで	1回	1回		
はっか オレガノ				収穫21日前まで				
マジョラム				収穫7日前まで	3回以内	3回以内		
セージ				収穫14日前まで				
レモンパー ムつるな		4,000~ 8,000		収穫21日前まで				
りんご	カイガラムシ類	4,000	200~ 700	収穫前日まで	3回以内	3回以内		
	モモチョッキリゾウムシ	2,000						
	ケムシ類	2,000~ 4,000						
	アブラムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ							
	シンクイムシ類 カメムシ類 リンゴワタムシ							

適用害虫名  
及び薬量

※みつばの収穫7日前まで ただし、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで

殺 虫 剤 モスピラン水溶剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(L/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法	
適用害虫名及び葉量	なし	カメムシ類 アブラムシ類 シンクイムシ類 カイガラムシ類 カキノヒメヨコバイ	2,000～4,000	200～700	収穫前日まで	3回以内	3回以内	散布
	ぶどう	アザミウマ類 フタテンヒメヨコバイ カイガラムシ類 コガネムシ類成虫 ツマグロアオカスミカメ ブドウトラカミキリ	2,000		収穫14日前まで			
	かりん	ナシヒメシンクイ			収穫後秋期 収穫14日前まで	2回以内	2回以内	
	おうとう	オウトウショウジョウバエ カメムシ類 アザミウマ類	2,000～4,000		収穫3日前まで	1回	1回	
	ネクタリン	アブラムシ類 シンクイムシ類	4,000					
	もも	モモハモグリガ アザミウマ類 カメムシ類	2,000～4,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内	
		コスカシバ	2,000					
	すもも	カイガラムシ類 シンクイムシ類	4,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内	
		小粒核果類(うめ、すももを除く)	アブラムシ類 カイガラムシ類					
	うめ	アブラムシ類	2,000～6,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内	
		ケシキスイ類 ノコメトガリキリガ カイガラムシ類	2,000					
	びわ	アブラムシ類 カミキリムシ類 カイガラムシ類	2,000～4,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内	
		アザミウマ類 キボシカミキリ カイガラムシ類 イチジクヒトリモドキ	2,000					
	かき	アザミウマ類 カイガラムシ類 カキノヘタムシガ カキノヒメヨコバイ カメムシ類			収穫前日まで	3回以内	3回以内	
	かんきつ	アブラムシ類 ミカンハモグリガ アザミウマ類 カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫 コアオハナムグリ ケシキスイ類 アゲハ類、カメムシ類 ミカンバエ	2,000～4,000		収穫14日前まで	3回以内	3回以内	
		コナジラミ類	4,000					
		ゴマダラカミキリ※	200～400					
			30～75					

※かんきつ・ゴマダラカミキリの200～400倍は、主幹から株元に散布

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(L/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法	
キウイフルーツ	カイガラムシ類	2,000	200～700	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	散布	
	キウイヒメヨコバイ	2,000～4,000						
マンゴー	アザミウマ類	2,000	200～700	収穫35日前まで	2回以内	2回以内		
パッションフルーツ	カイガラムシ類		100～300	収穫30日前まで				
さんしょう(葉)	アザミウマ類 アブラムシ類	4,000	200	収穫45日前まで	6回以内	6回以内		
さんしょう(果実)	ゴマダラカミキリ幼虫	200		20	収穫7日前まで	1回		4回以内 〔散布は1回以内 樹幹散布は3回以内〕
あけび(果実)	アブラムシ類	4,000	200～700	2回以内	2回以内	2回以内		
アセロラ								
食用さくら(葉)	アザミウマ類	4,000	100～300	収穫3日前まで	1回	1回		
ブルーベリー	オウトウショウジョウバエ			収穫前日まで				
茶	チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ チャノホソガ	2,000～4,000	200～400	摘採14日前まで	3回以内	5回以内 〔樹幹注入は1回以内〕		
やなぎ	ヤナギコハモグリ	4,000	200～700	発生初期	5回以内	5回以内	散布	
花き類・観葉植物(きく、ストックを除く)	アブラムシ類							
	アザミウマ類							
ストック	アブラムシ類		2,000～4,000					100～300
	アザミウマ類		4,000					
きく	アザミウマ類		2,000					5回以内 〔粒剤は1回以内〕
つつじ類	ツツジゲンバイ		2,000					5回以内 〔樹幹注入は1回以内〕
まつ	アブラムシ類	4,000	200～700	5回以内 〔樹幹注入は1回以内〕				
たばこ	アブラムシ類	2,000～4,000	25～180	収穫10日前まで	2回以内	3回以内 〔ただし定植後は2回以内〕		
てんさい	テンサイトビハムシ テンサイモグリハナバエ	200	ペーパーポット1冊当り1ℓ(3ℓ/m <sup>2</sup> )	定植前	1回	1回	苗床灌注	
アマランサス(茎葉)	アブラムシ類	8,000	100～300	収穫3日前まで	3回以内	3回以内	散布	
ソルガム		6,000		収穫45日前まで				
まめ科牧草飼料用とうもろこし				収穫90日前まで				
いね科牧草				収穫30日前まで				

適用害虫名及び薬量



使用方法及  
び注意事項

【効果・薬害などの注意】

1. メロン・うり科作物に対しては葉縁に薬害を生じるおそれがあるので、使用濃度・使用量を厳守し、幼苗期や高温時の使用をさけてください。
2. はくさいに使用する場合、幼苗期には薬害を生じるおそれがあるので、活着後に使用してください。
3. コナガ・アブラムシは抵抗性が発達しやすいので、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用し、連続散布はさけてください。
4. なしに使用する場合、品種によって葉裏に黒色斑点の薬害を生じることがあるので、下記を参考に使用してください。

**薬害の認められない品種**：二十世紀、ゴールド二十世紀、幸水、新水、豊水、新興、新星、晩三吉、愛宕、新雪、今村秋、新世紀、豊月、ラ・フランス、ヤーリー、ルレクチュ

**薬害を生じることのある品種（使用をさけてください）**：新高、長十郎、八雲、愛甘水

5. ぶどうに対しては、幼果期から果粒肥大期の散布は果粉の溶脱のおそれがあるので使用はさけ、新梢伸長期から落花期及び袋かけ以降に使用してください。
6. かんきつに対して希釈倍数200～400倍で使用する場合、薬液が葉にかかると薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように十分注意して散布してください。
7. ももの施設栽培では、葉に薬害を生じるおそれがあるので、使用はさけてください。
8. 花き・花木に使用する場合、品種によって葉に薬害を生じるおそれがあるので、あらかじめ、小規模散布などで確認のうえ、ご使用ください。
9. マメコバチに対して影響があるので、授粉のためにマメコバチを使用する場合は、開花期に使用しないでください。
10. 蚕に対しては長期間毒性があるので、近くに桑園のある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
11. 散布量は、対象作物の生育段階・栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
12. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
13. 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

【安全使用上の注意】

14. 医薬用外劇物。取り扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
15. 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
16. 使用の際は、防護マスク・手袋・不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをするとともに、洗眼してください。
17. 街路・公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に、小児や、使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう、縄囲いや、立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないように注意してください。

**治療法**：本剤の中毒に対しては、動物実験で、L-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤及びグルタチオン製剤の注射投与が有効であるとする報告もあります。

**保管**：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

○火災時は、適切な保護具を着用し、水・消火剤などで消火に努めてください。

○漏出時は、保護具を着用し、掃き取り回収してください。

○移送取り扱いは、ていねいに行ってください。

○使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

【PRTR該当成分】

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (PRTR・1種 30) ..... 2.4%

包 装	(100g×25袋) × 4箱、250g×40袋、500g×20袋	有効4年
毒 性	医薬用外劇物	